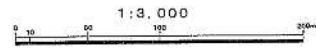


位置図

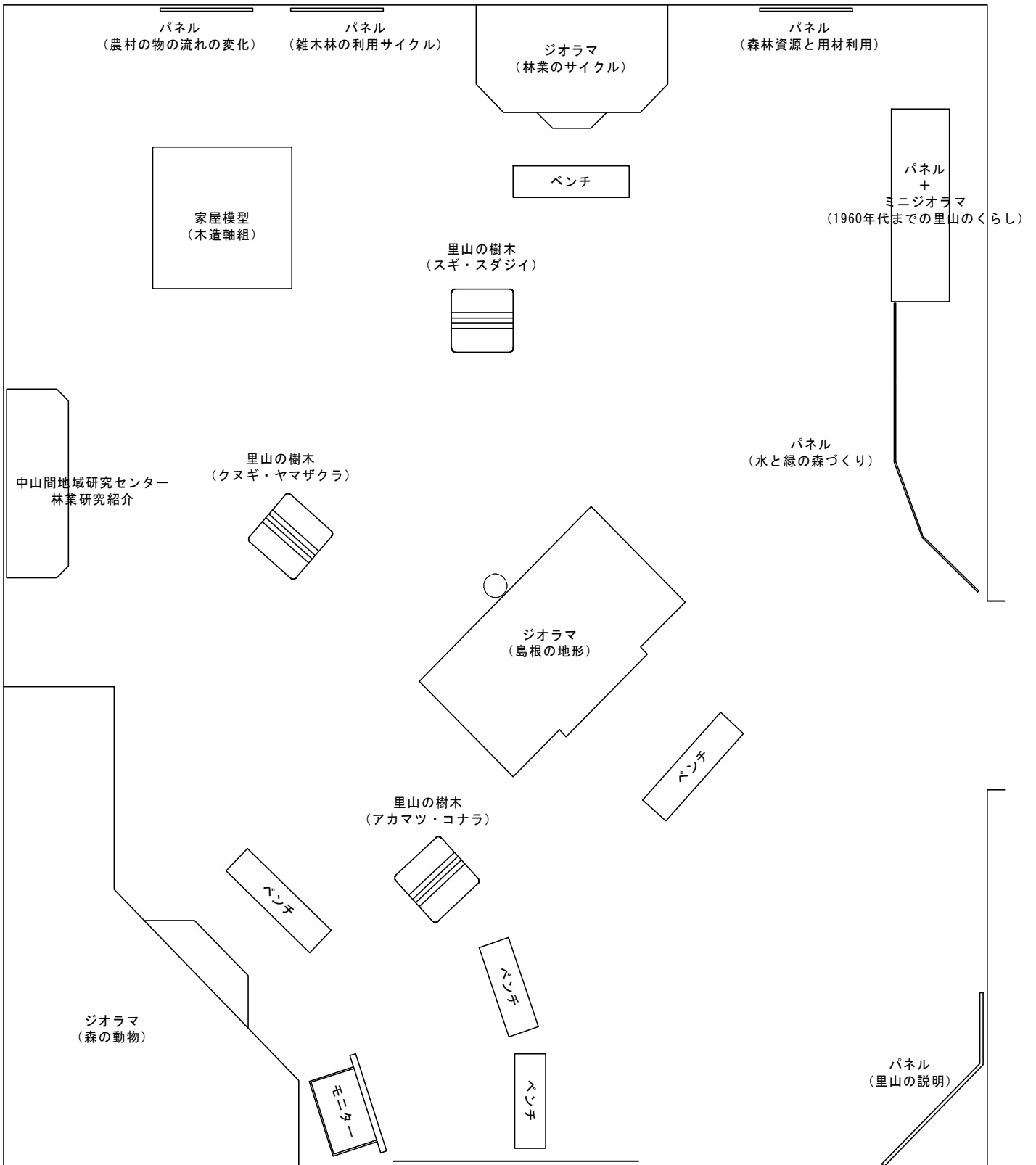
業務位置：松江市央道町佐々布 地内



ふるさと森林公園森林学習展示館
(展示リニューアル) 業務 1 式

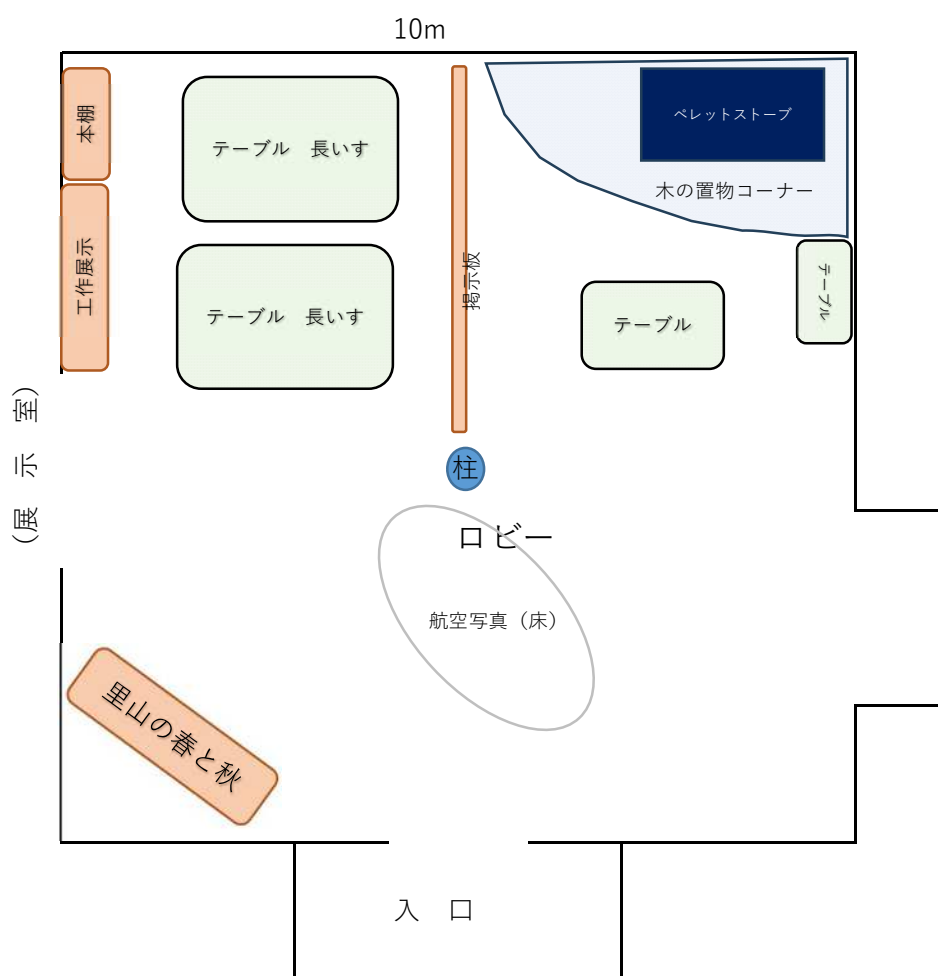


森林学習展示館 展示室 現況

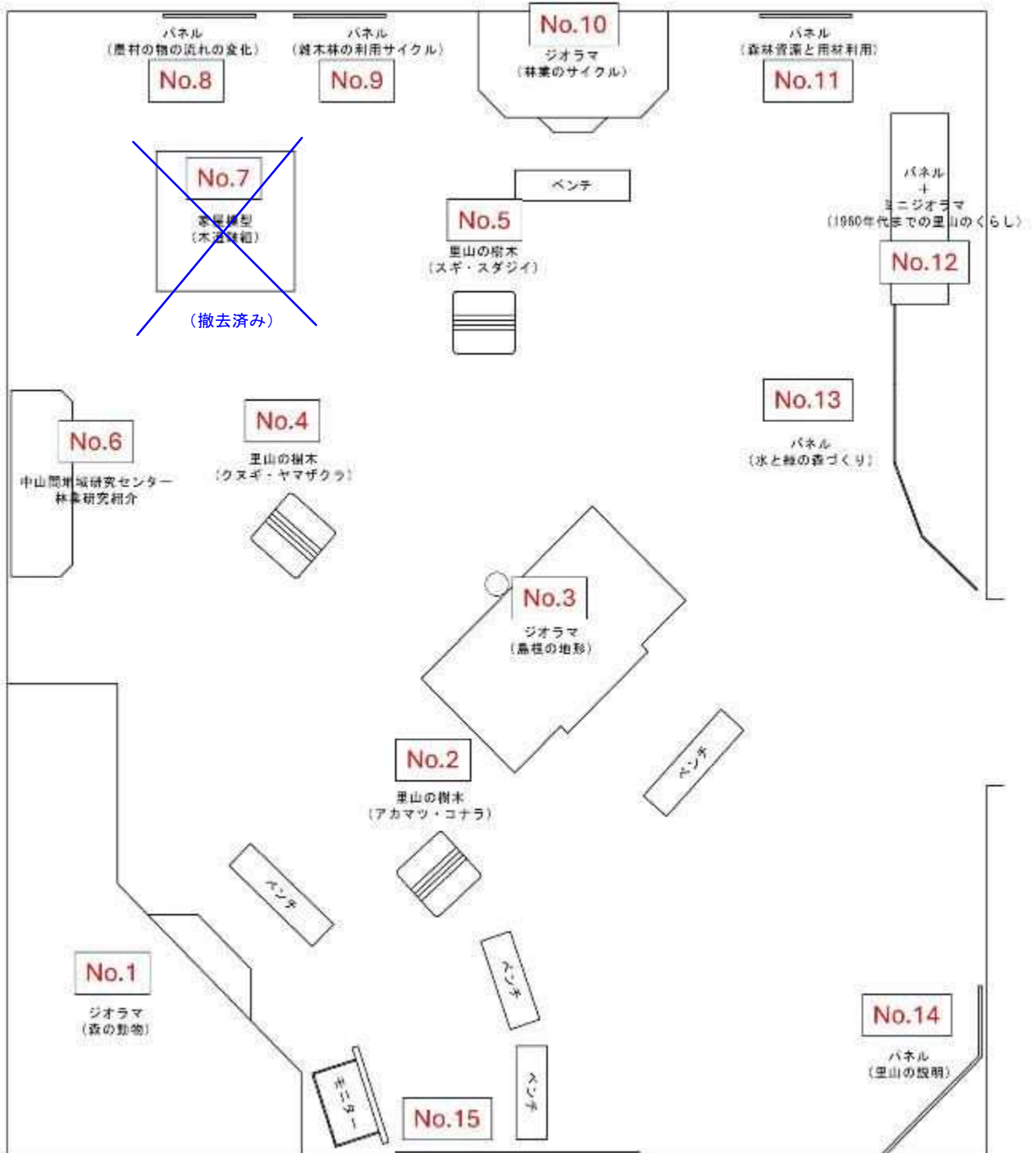


第71回 全国植樹祭コーナー
(パネル、DVD視聴)

森林学習展示館 ロビー 現況



既存展示物配置図（展示室）



第71回 全国種畜産コーナー
(パネル、DVD視聴)

No.1 ジオラマ（森の動物）



No.2 里山の樹木（アカマツ・コナラ）



No.3 島根の地形



No.4 里山の樹木（クヌギ・ヤマザクラ）



No.5 里山の樹木 (スギ・スダジイ)

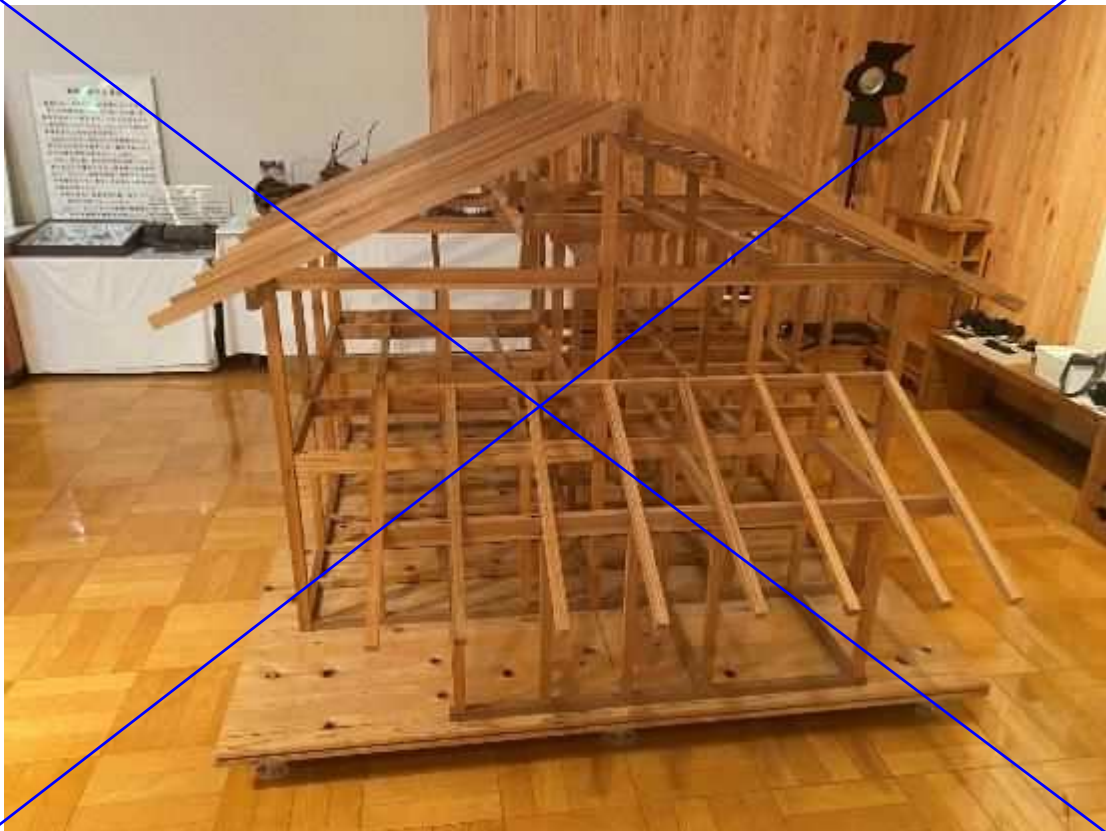


No.6 中山間地域研究センター 林業紹介



No.7 家屋模型 (木造軸組み)

(撤去済み)



No.8 農村の物の流れの変化、No.9 雑木材の利用サイクル



No.10 ジオラマ (林業のサイクル)



No.11 森林資源と用材利用

森林との共生

日本は、国土の約67%が森林におおわれた世界でも有数の森林国です。一方、世界の木材輸入国でもあります。日本の森林資源は年々充実しつつあり、木材供給力がしゅうぶんあるにもかかわらず、安い輸入材におされ、国産材は2割程度しか使われていません。

今後、持続可能な社会をめざす上でも、森林とのかかわりを見直し、森林と共生しながら、森林や木材をうまく利用するしくみをつくっていく必要があるはずです。

日本の木材資源の現状

品名	単位	2018年	2019年	2020年	2021年
森林面積	千ha	3,140	3,140	3,140	3,140
森林立木蓄積	千立m	1,100	1,100	1,100	1,100
森林蓄積	千立m	1,100	1,100	1,100	1,100
森林立木蓄積	千立m	1,100	1,100	1,100	1,100
森林蓄積	千立m	1,100	1,100	1,100	1,100

森林面積は横ばいですが、蓄積量(木材貯蔵量)は、人工林を中心とする増加し、近年度は、毎年約6,800万立mずつ増加しています。

用材供給量と用材自給率の推移

日本の木材需要量は増え続けていますが、毎年度追加しただけの蓄積量も500万立m程度しかなく、増え続けている。世界の森林を減らすことなく、日本の木材の大半を自給することが必要です。

国産材を使った施設

地域の木を使うことは、林業の生産活動を活発にし、森林が適切に管理されることにつながります。その結果、地域の森林も元気になり、森林の持つさまざまな機能も発揮されます。

新久保産キリヤモセンター(高知県)
地域産材を使用した木造センター。木の温もりや木の香りを活かした空間づくりが、地域の活性化に貢献しています。

黒川産材センター(高知県)
地域産材を使用した木造センター。木の温もりや木の香りを活かした空間づくりが、地域の活性化に貢献しています。

松戸産材センター(千葉県)
地域産材を使用した木造センター。木の温もりや木の香りを活かした空間づくりが、地域の活性化に貢献しています。

No.12 1960年代までの里山の暮らし



No.13 水と緑の森づくり



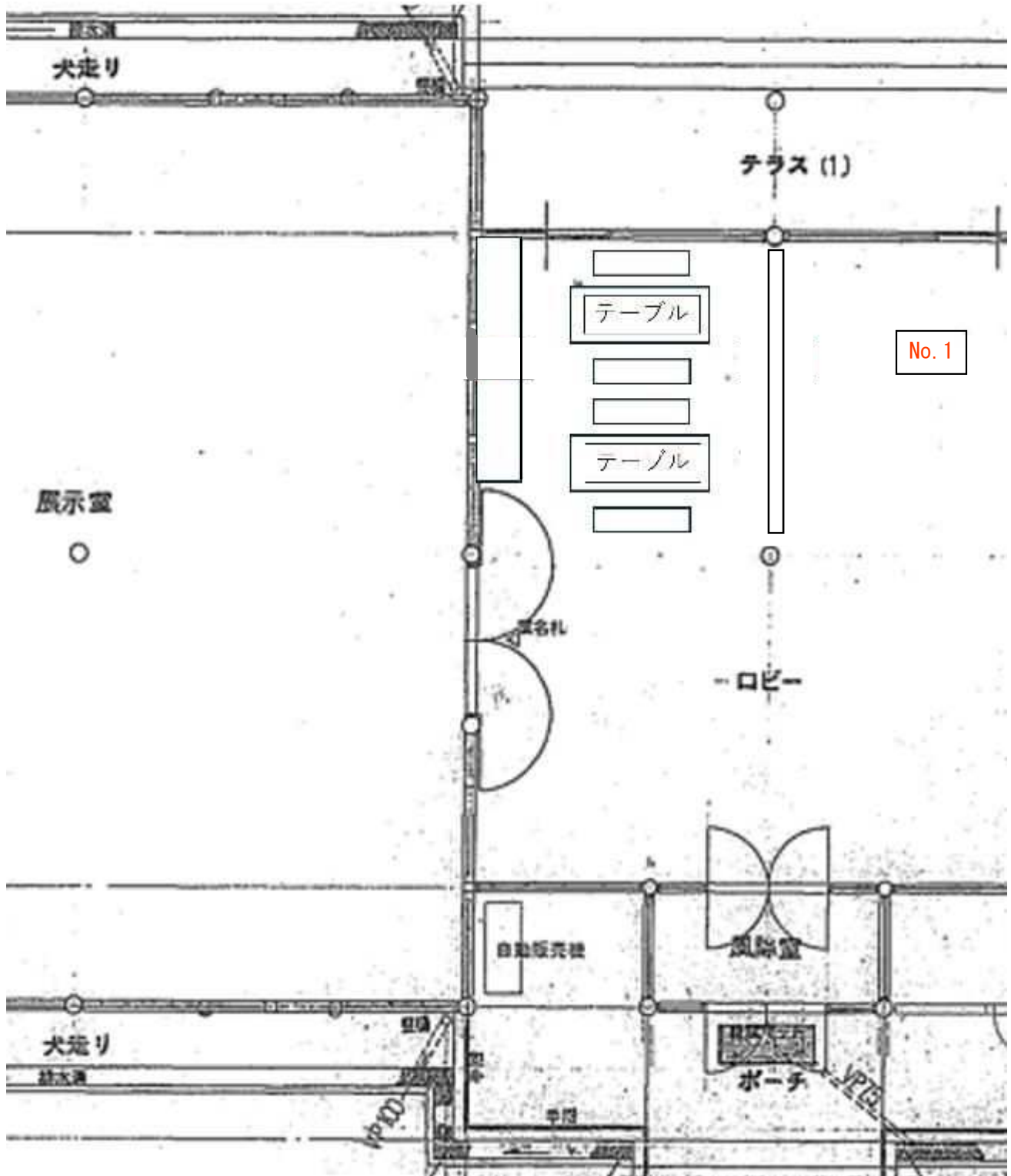
No.14 里山の説明



No.15 第71回全国植樹祭コーナー



既存展示物配置図 (ロビー)



No.1 ペレットストーブ 撤去及び処分

